

【5/18(土)より特別展示開催】

群馬県・栃木県で発見！ 「世界最古・新属新種のヨウスコウカワイルカ類化石」

- ・群馬県・栃木県から新属新種のイルカ化石が発見されました
- ・世界最古（約1100万年前）のヨウスコウカワイルカ科の化石です
- ・5月18日から6月30日まで、群馬県立自然史博物館にて特別展示します

1 概要

世界最古・新属新種のヨウスコウカワイルカ科であることを報告する論文が、日本古生物学会が発行する学術雑誌 *Paleontological Research* に掲載されました（令和6年3月20日オンライン版出版）

- 学名 *Eolipotes japonicus*（エオリポテス ジャポニクス）
- 新属名 最初期を意味するラテン語の *eo* と、
現生のヨウスコウカワイルカを意味する *lipotes* に由来
- 新種名 発見地である日本に由来
- 新種のクジラ・イルカ化石の発見

群馬県産は4例目（すべて県立自然史博物館の研究によるもの）、栃木県産は初

2 化石標本について

産出地	発見年月	発見者	備考
群馬県	1999年5月	中島一氏 （安中市在住）	2002年に自然史博物館に寄贈
栃木県	2012年3月	濱田幸典氏 （当時、海城中学校3年）	栃木県立博物館及び海城中学校・海城高等学校地学部によって発掘。現在は、栃木県立博物館に収蔵



今回報告された化石の一部（頭の部分）

左：群馬県産、右：栃木県産

群馬県立自然史博物館ホームページ

